潮の響

後を絶たない消費者被害。若者から高齢者まで、心の隙を突いて欺く手口は増えるばかり。県は被害防止のキャンペーンに懸命だ▼その一つが、勤労者向けに各種情報を提供する季刊冊子「LW（勤労者福祉）・マガジン」。国の緊急雇用創出事業を活用して、被害防止の特別号を作った。県が地域活性化支援センターに委託し、女性スタッフが無料バスツアーへ潜入取材したリポートが興味深い▼招待キャンペーンを扱っている薬局や飲食チェーンでハガキを入手し、応募すると「あなたのご家族にも当選のチャンス」。待つこと数週間、「300名様ご招待」に見事？当選。スタッフ2人で乗り込むと、バスの中は40代～50代の女性ばかり。男性は奥さんに誘われたらしい3人だけ▼1人は無料だが、2人目は4800円。当選は女性1人だけに限られていることが、その段階で分かる。静岡からバスで3時間。いきなり「某宝石ミュージアム」に到着。店舗は外から見えない。別室に通され、ドアが閉められ、添乗員が出口に座る▼30分にわたり、女性スタッフがこの宝石がいかに素晴らしいかしゃべり続け、「逃げ道」のないコースに沿ってショップへ。「金利なし頭金たったの3500円、月々5300円」（48回払い）。なんと総額25万7900円。会場内を見回すと、かなりの人がテーブルでサイン中▼密室で集団心理につけ込む。大がかりな催眠商法ともいえる手口。ただほど高いものがない好例。